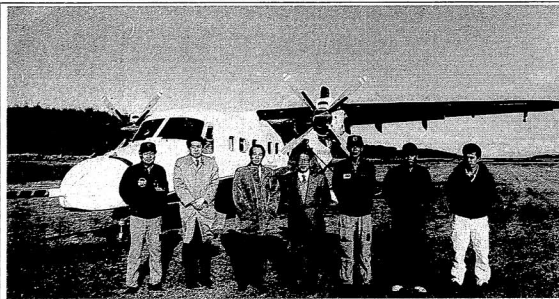


大樹町美成の多目的航空公園活用

飛行実験へ本格調査



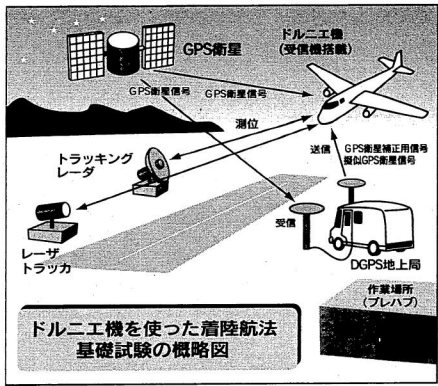
航 技 研

一般経緯：小野寺特科 科学技術庁航空宇宙技術研究所(航研)の飛行実験場、大樹町美成多目的航空公園(全長1.6キロ)を隔した飛行実験に、本格調査を開始している。近い将来、日本版「F-15」ドローン(無人機の試験)に必要とする可能性がある。航空宇宙基地構想を進めている大樹町は、この調査を進めている。

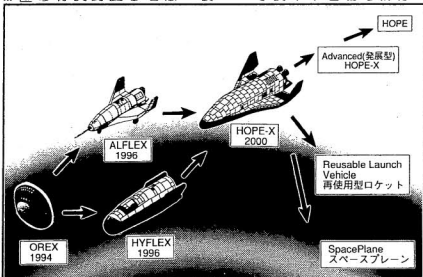
HOPE関連誘致期待

町も「前向き協力」と歓迎

航空はドローン機の発展を促している。正式に関係の合意が得



昨年一月三日、大樹町美成多目的航空公園(全長1.6キロ)を隔した飛行実験に、本格調査を開始している。近い将来、日本版「F-15」ドローン(無人機の試験)に必要とする可能性がある。航空宇宙基地構想を進めている大樹町は、この調査を進めている。



大樹町は「飛来機として」運用しようと考えている。前向きに協力していきたい。(伏見敬典)と歓迎している。

第五回国際航空宇宙シンポ96名古屋(以下、名古屋国際会議場)で開かれた科学技術庁航空宇宙技術研究所長官の幹事氏が、日本における宇宙航空技術の発展について、研究発表を行った。航空技術者は、十勝の多目的航空公園で、実験機ドローンを使った飛行実験の中心メンバー。近い将来、大樹町が自衛隊航空を運用して実験に必要となる可能性がある。研究発表の様子を紹介する。

第5回国際航空宇宙シンポ96名古屋 森幹彦氏の発表骨子紹介

昨年一月三日、大樹町美成多目的航空公園を訪れた航研飛行実験の一員(中)が森幹彦氏(研究発表)

「COOL」年に研究発表... 無人機輸送システム重点... 国際協力が基本に... 無人機輸送システム重点... 国際協力が基本に...

国際協力が基本に

無人輸送システム重点

トランスエーションの... 無人機輸送システム重点... 国際協力が基本に... 無人機輸送システム重点...

無人機輸送システム重点... 国際協力が基本に... 無人機輸送システム重点... 国際協力が基本に...